

知床の窓から見えるもの

2014年7月25日（金曜日）

「手塚所長との思い出」

私は医師付きクラークとして今回退職された手塚所長の診察介助に、ほぼ毎日携わらせて頂きました。先生のそばで仕事をさせて頂き感じたことがあります。先生はいつも穏やかで口数も少なかったかもしれませんが、患者さんの診察もすごく丁寧で、老若男女問わず、診療所の職員に対しても1人1人に丁寧で親切な態度で接してくれました。たまには、その姿からは発言するとは思えない親父ギャグで笑わせてくれることもあり、患者さんや周りの職員の笑顔もみられてその場を和ませてくれました。とにかく几帳面で誰に対しても丁寧な姿勢で素晴らしい先生でした。「退職される」と聞いた時は、すごく残念な気持ちになり他の職員も皆同じ気持ちになったと思います。先生のそばで一緒にお仕事できるのも、あと1ヶ月、あと半月…あと1週間…時が経つごとに、とても寂しい気持ちになり最後まで少しでも先生の介助になれるよう心にきめて励んできました。診察室でも「先生、今まで有り難うございました。」と挨拶される患者様にも起立されお辞儀をし、「〇〇さんもお元気で」と挨拶される先生をみて1人1人に最後まで丁寧に接し人として素晴らしいと感じました。

手塚先生と一緒にお仕事することができ私の人生の宝になりました。本当に感謝の思いでいっぱいです。7月25日 診療所を今まで支えて下さった手塚所長の送別会がありました。診療所職員、消防の救命士さん、運転手さん、など33名と大勢の方が参加しました。先生と一緒に皆で楽しく歓談し、泣かないと決めていた職員も、先生のことを想うと涙がポロポロ流れてくる職員もいました。各部署から先生へプレゼントもあり、先生も喜んで下さっていたと思います。最後には先生からの挨拶と記念撮影もありアーチを作って先生をお見送りしました。素敵な送別会になったと思います。

これからも職員全員で診療所を盛り上げていきたいと思います。

そしてこれからも所長には、お身体を大切に健康で、お元気に過ごして欲しいです。今まで大変お疲れ様でした。そして有り難うございました。

